

第3学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 本で知ったことをクイズにしよう
— はじめての葉を集めて、クイズ大会を開こう —

2 単元の目標

- ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。
(知識及び技能(3)オ)
- 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。
(思考力、判断力、表現力等C(1)カ)
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。
(学びに向かう力、人間性等)

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (3)オ	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。(C(1)カ)	進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本で知ったことをクイズにしようとしている。

4 単元について

(1) 本単元で扱う言語活動と教材

本単元では、本を読んで知ったことをクイズにして友達と共有するという言語活動を設定している。本で知ったことや興味をもったことを「はじめての葉」というメモに書いて集め、その中から友達に伝えたいことを選んでクイズにする。この活動は、学習指導要領「C 読むこと」における言語活動例「ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動」を踏まえて設定した。

本単元で扱う教材「鳥になったきょうりゅうの話」は、題名のとおり、恐竜が進化の末に鳥となって現代へと生き残っていることを説明している文章である。一連の説明の中で、恐竜にはいろいろな種類のものがいたこと、体の小さな恐竜もいたこと、羽毛が生えているものがいたこと、木の上で暮らすものもいたこと、地球の環境が大きく変わって恐竜が絶滅したこと、羽毛の化石から恐竜の色が分かりつつあることなど、多数の事実が示されている。どの事実に興味をもったかを交流することで、読書を通して得た知識を共有するという本単元の見通しをもたせ、もっと話してみたいという意欲を喚起することができると思う。

(2) 学習を通して身に付けさせたい力とその手立て

【身に付けさせたい力について】

学習指導要領「知識及び技能」に整理されている「読書」の指導事項において、中学年では、「幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと」が求められている。好きな本を読み読書に親しむことは、もちろん重要であるが、中学年以降は、さまざまな内容の本に触れさせ、読書は自分の内面を豊かにするという効能を実感させる機会をもちたい。ここでは、幅広く読むジャンルの一つとして、科学に関する内容の本を取り上げている。普段の読書では全くそれらを読まない児童もいれば、むしろ図鑑ばかり好んで読む児童もいる。まずは、これまでの読書生活を思い起こさせ、自分がどんな本を多く読んでいるのか、そこからどんな知識を得ているのかを考える時間を取りたい。児童が自らの読書生活を認識する上で、読書記録は有効な手段である。本単元では、読書記録の一つとして、初めて知ったことを「はじめての葉」というメモに書いて集める活動を行う。その過程で、読書には新しい知識や情報を得られる楽しさがあることに気付かせたい。また、初めて知ったことや興味深い事柄を見付けるにつれて、それを人に伝えたい、友達が読んだ本を読みたいという意欲が高まると考える。クイズを出し合う活動を通して、自身の驚きや感動を友達と共有する楽しさを味わわせ、新たな本に手を伸ばすきっかけを作りたい。このような活動を通して児童の選書の幅を広げ、読書に親しむ態度を育てていく。

【手立てについて】

○興味関心を引き出し、課題を見付けさせるための工夫

単元の導入で、学校図書館の貸出記録を見ながら日頃の本の選び方や読み方について話し合い、選ぶ本に偏りがあることや、人によって本の選び方や読書の楽しみ方に違いがあることを認識させる。その上で、教師が作成したクイズに答える活動を行い、読書には知らなかったことを知る楽しさがあることや、おもしろいと感じることは人によってさまざまであることに気付かせ、本単元で行う言語活動に対する興味関心を引き出す。この過程を通して、読書の幅を広げて新しい知識を得たり、本について友達と交流したりすることを楽しむという本単元のめあてを児童とともに設定する。

○選書の工夫

児童が意欲的に本を手取るためには、これまで知らなかった科学的な内容が書かれている本に出会えるように環境を整えることが必要である。日常の読書では、図書館の棚に並んだ本の中から読みたい本を見付ける力が必要となるが、本単元では、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付かせ、日頃の読書でも幅広く本を手にとろうという意欲を高めることに重きを置いている。そこで、児童が興味をもった本を次々に手に取れるように、中央図書館の団体貸出と図書館指導員の協力を得て教室の一角に関連する本を集めておく。児童が興味深いと感じられるような内容の本を集め、新しい知識を得る楽しさを存分に味わえるようにしたい。その際、本の表紙や目次、絵や写真など、本の内容を予想するヒントは数多く存在することに気付かせ、目星を付けて本を選んで読むことで、全てに目を通さなくても本の内容の大体を捉えて選書する能力も伸ばしていく。

○自己の学びを自覚し、次の学びにつなげるための工夫

本単元では、初めて知ったことを「はじめての葉」という葉っぱの形のメモに書いて木の絵に貼り付けていく活動を行う。「はじめての葉」を増やしていくことによって、本から新しい知識や情報を得たことを視覚的に捉え、自己の学びを自覚できるようにすることができると考える。また、「はじめての葉」をもっと増やしていきたいという意欲が高まる効果も期待できる。そこで、学力の低い児童でも葉を4枚程度貼れば達成感が得られるような大きさにして、より多く書ける児童は2枚目のワークシートに貼り重ねていけるようにする。本単元は、クイズ大会というゴールを設定しているため、難しいクイズを作ることが本を読む目的になり、知識を得る喜びに意識が向かない恐れがある。授業時間だけでなく、朝学習や休み時間に「はじめての葉」を書けるようにすることで、児童がより主体的に本を手に取り、学びを蓄積していけるようにしたい。

5 指導計画(全5時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
第一次	1	○これまでの読書生活について振り返る。 ○教師の作ったクイズに答え、学習のねらいを理解し、学習の見通しをもつ。	○普段の本の選び方や読み方を出し合い、友達との共通点や相違点について気付かせる。 ○主に科学の本を読んでクイズ大会をすることを知らせ、本から知ったことを伝え合う活動への意欲をもたせる。	[主体的に学習に取り組む態度] <u>発言・記述</u> ・自分の読書活動を振り返って単元のめあてを理解し、これからの学習に見通しをもっているかの確認
	2	○「鳥になったきょうりゅうの話」を読んで、初めて知ったことを伝え合う。	○初めて知ったことや興味をもったことを「はじめての葉」に書き、どんなことに興味をもったのか友達と共有する。 ○「鳥になったきょうりゅうの話」の「はじめての葉」をもとに、どんなクイズを作るとよいのかを考えさせる。	[思考・判断・表現] <u>発言・記述</u> ・読書には、知らなかったことを知る楽しさがあること、おもしろいと感じることは人によってさまざまであることに気付いているかの確認
第二次	3	○学校図書館で読みたい本を選び、初めて知ったことを「はじめての葉」に書きながら読む。	○目次や索引を見て、興味のあるところを選んで読む方法もあることを理解させる。 ○「はじめての葉」を書き、新しい知識や情報を得られるという読書のよさに気付かせる。	[主体的に学習に取り組む態度] <u>記述</u> ・新しいジャンルの本を手に取り、進んで本で知ったことや興味をもったことを見付けようとしているかの確認

	4	○「はじめての葉」を見返して、初めて知ったことや興味をもったことの中から伝えたいことを選び、クイズを作る。	○「はじめての葉」を見返すことによって、自身の成長に気付かせる。 ○クイズ大会の目的を確かめ、「読んでみたい」と友達に思ってもらえるようなクイズを考えさせる。	[主体的に学習に取り組む態度] <u>記述</u> ・進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って、本で知ったことをクイズにしようとしているかの確認
第三次	5 本 時	○クイズ大会を開く。 ○学習を振り返る。	○友達が発表した本を手にとって読んだり、その本を読んで感じたことを話したりできる場を設ける。 ○友達のクイズを聞いて心に残った内容や本について学級全体で交流し、今後の読書生活に生かせるようにする。	[知識・技能] <u>発言・記述</u> ・幅広く読書に親しみ、読書が知識や情報を得ることに役立つことに気付いているかの確認 [主体的に学習に取り組む態度] ・友達が発表した本に興味をもち、今後の読書生活に生かそうという思いをもっているかの確認

6 本時の目標と展開（5／5）

（1）本時の目標

○幅広く読書に親しみ、読書が知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。

（知識及び技能）

○友達が発表した本に興味をもち、今後の読書生活に生かそうという思いをもつことができる。

（主体的に学習に取り組む態度）

（2）展開

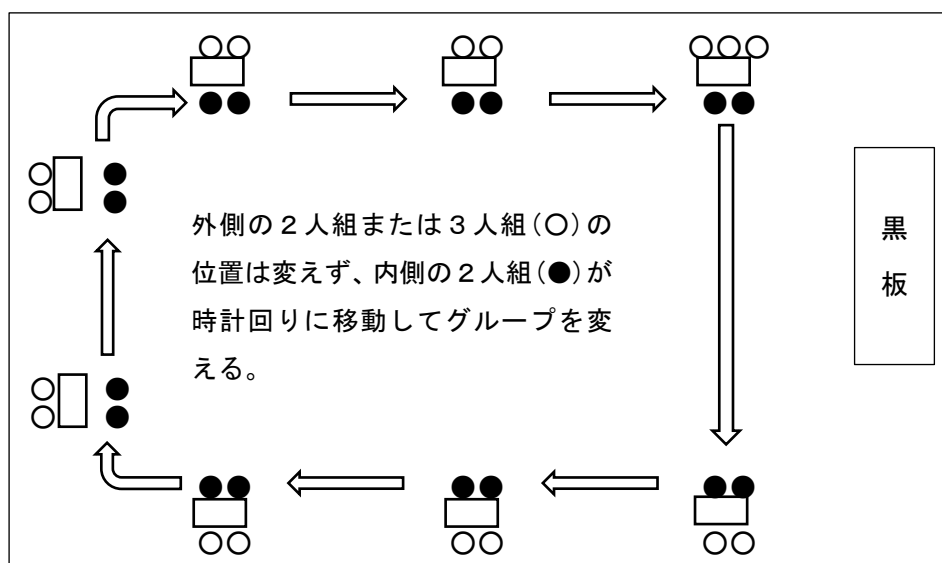
学習内容と活動	教師の指導や支援の手立て（○）・評価（◆）
1 本時の学習のめあてを確かめる。	○クイズ大会の目的は、本を読んでおもしろいと思ったことを友達に伝えること、友達の発表を聞いて次に読んでみたい本を見付けることであることを確認する。
クイズを出し合って、いろいろな本のおもしろさを見つけよう。	
2 4、5人のグループに分かれて、クイズを出し合う。 〈クイズ大会の流れ〉 ①クイズカードを提示しながら、クイズを出題する。 ②答えを予想させる。 ③答えを提示する。 （例）「正解は『本の題名』の○ページにあります。」	○クイズ大会の流れとグループで活動する目安の時間を確認し、それぞれの位置に移動する。 ○グループをあらかじめ教師が編成し、円滑に活動を始められるようにする。 ○事前にクイズカードを書いて、提示しながら発表することによって、自信をもって伝えられるようにする。 ○答えの提示の仕方は、教師の例を参考にして児童が選べるようにする。 ○答えを提示する際、「どの本に書いてあるか探してみてく

(例)「正解は〇〇です。詳しくは『本の題名』の〇ページにあります。」 (例)「どの本に書いてあるか探してみてください。」 ④本を見ながら、どうしてそのクイズを出したと思ったのかを話したり、クイズや本の内容について気付いたことや感想を言い合ったりする。 ⑤①～④の流れで1人1問ずつ出合う。全員が終わったら机の上の札を替えて、グループ交代可能であることを示す。 ⑥2問以上作った児童が問題を出したり、それぞれが興味をもった本を読んだりする。 ⑦グループを変えて、①～⑥の活動を行う。 3 本時までの学習を振り返る。 〈予想される児童の発言〉 ・本を読むと色んなことを知ることができて楽しい。 ・本で知ったことを友達に教えると楽しい。 ・今まで読んだことがなかった本を読んでみたくなった。 ・次に読みたい本が見付かった。	ださい。」と言うことによって、回答する児童が本の題名や目次、索引を手掛かりにして知りたい内容を探すことを楽しむことができる。 ○答えを確認して終わりではなく、本やクイズについて感想を言い合ったり、どうしてそれをクイズにしようと思ったのかを聞いたりして、また、一人一人の感じ方の違いに気付くきっかけを作る。また、自分が作ったクイズで友達が楽しむ様子を見て、達成感を得られるようにする。 ○グループによって全員が1問ずつ出し終わるまでの時間に差があるため、クイズが終わったら本を読んで待ち、授業後も続きを読みたいという意欲をもてるようにする。 ○問題を1人1問ずつ出して一巡した後、2問以上ある場合はもう一巡するようにして、学力の低い児童も高い児童も達成感が得られるようにする。 ○グループを変えて活動することによって、様々なジャンルの本に触れる機会を作り、新しいジャンルの本に興味をもてるようにする。また、同じ本を読んでも興味深いと思うところは人によって異なる場合があることに気付く機会を作る。 ○友達のクイズを聞いて心に残った内容や、おもしろかったことを振り返り、本から得た知識や情報によって友達と楽しく活動できたことに気付かせる。 ○第1時で使ったワークシートに、本時までの学習を通した振り返りを記入することによって、自身の成長を感じ取れるようにする。 ○次に読みたい本や本の種類を考えさせることで、今後の読書生活に生かせるようにする。 ◆読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ◆読んだことのない本に興味をもち、今後の読書生活に生かそうという思いをもっている。
--	--

本時の評価基準

評価 基準	○読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ○読んだことのない本に興味をもち、今後の読書生活に生かそうという思いをもっている。
A	上記の2つを満たす。
B	上記のどちらかを満たす。
C	上記のどちらも満たさない。

会場図



本で知ったことをクイズにしよう

クイズを出し合って、いろいろな本のおもしろさを見つけよう。

〈クイズ大会の進め方〉

①クイズを出す。

②答えをよそうする。

③答えを言う。

(れい)「正かいは『本の題名』の〇ページにあります。」

(れい)「正かいは〇〇です。くわしくは『本の題名』の〇ページにあります。」

(れい)「どの本に書いてあるかさがしてみてください。」

④本を見ながら、おしゃべり

- ・そのクイズを出したと思った理由

- ・クイズや本のかんそう など

⑤ぜんいんが一問出したらふだをかえる。

⑥二問目を出したり、本を読んだりする。

⑦グループ交代い。

〈ふりかえり〉

- ・本を読むと楽しい。 ↑色んなことを知ることができて

↑友達に教えたり教えられたり

- ・読んだことない本を読みたくなった。

- ・読みたい本が見つかった。

9 ワークシート

本は友だち ― はじめての葉をあつめて、クイズ大会をひらこう ―

氏名

ぼく・わたしが読みたい本のしゅるい 丸をつけましょう。

学習のはじめ			学習のおわり		
生き物(動物)	生き物(虫)	生き物(植物)	生き物(動物)	生き物(虫)	生き物(植物)
生き物(魚)	生き物(ヒト)	生き物(恐竜)	生き物(魚)	生き物(ヒト)	生き物(恐竜)
天気	うちゅう	地きゅう	天気	うちゅう	地きゅう
物語	絵本	れきし	物語	絵本	れきし
料理	スポーツ	詩集	料理	スポーツ	詩集
なぞなぞ	まちがいさがし	工作・おり紙	なぞなぞ	まちがいさがし	工作・おり紙

本と友だち度チェック ☆に色をぬりましょう。

チェックすること	学習のはじめ	学習のおわり
本がすきで、休み時間や空いた時間に本を読みたくなる。	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
今まで読んだことのないしゅるいで読みたい本がある。	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
本を読むことのよさがわかる。	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

学習をふりかえって

ぼく・わたしが見つけた、本を読むことのよさや、次に読んでみたい本、クイズ大会をして気づいたことを書きましょう。

本は友だち ― はじめての葉をあつめて、クイズ大会をひらこう ―

